

(別記様式)

令和5年度 京都府立西舞鶴高等学校 通信制 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 社会生活の基盤となる力を身につける。 2 望ましい勤労観・職業観を育成し、社会的自立を図る。 3 生涯学習の場（学び直し）としての機能を充実させる。	1 単位修得に向け個に応じた学習指導や面接指導を充実させるとともに、放送視聴制度や教科スクーリング等の活用により、単位修得率が向上した。次年度も単位修得を支援に向けた指導を充実させたい。 2 進路説明会や個別指導等、きめ細やかな指導を通して、勤労観・職業観の育成とともに、希望進路を図ることができた。次年度も、生徒の様々なニーズに応じた進路指導を充実させたい。 3 生徒の主体性を育む活動等を通じ、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。今後も生徒の多様化を踏まえ、個に応じた指導を充実させたい。	【「校訓」を踏まえた、総合的な人間力の育成】 「究理（真理を求め勉学に努める）」「尚志（高い理想を抱きその実現に努める）」「敬人（人を敬愛し誠実に生きる）」の精神を踏まえつつ、「努力」と「友情」を基軸に総合的な人間力の育成を図る。 1【究理】学習指導の充実 面接指導等を充実させるとともに、学びに主体的に取り組む姿勢を育む。 2【尚志】進路指導の充実 希望進路実現のため、個に応じた進路指導を充実させる。また、正しい職業観の育成を図る。 3【敬人】コミュニケーション能力の向上 各種教育活動を通して、多様な他者を敬う心を育むとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。

評価領域	重点目標	具 体 的 方 策	評価		成果と課題
組織・運営	多様化する生徒の特性に応じた学校運営の充実を図る。	生徒の特性を理解し、家庭及び関係機関との連携を深めるとともに、安心安全に学校生活が送れるよう配慮する。 ----- 教職員向け通信を継続的に発刊し、学校運営活性化に向けた各種情報を発信する。	A	A	生徒の特性に応じて、こまめに家庭や関係機関と連携することができた。 毎週、教員向け通信を発行し、各種情報共有を図ることができた。 個別指導による学習指導やスタディサプリを継続導入することにより、学習指導の最適化を図ることができた。 毎週連絡会を開催し、生徒の情報共有を図り、各種課題については迅速に対応がすることができた。 毎週公式HPを活用し、通信制の様子を発信することができた。 ただし、メディアへの広報活動は、取り組めなかった。 部活動については、全国大会出場等、生徒の活躍があった。
	生徒に係る各種情報の共有を図り、速やかな対応がはかれるよう配慮するとともに、効果的な支援活動の在り方を模索する。	生徒の資質・能力に応じ個別最適化された学習指導の在り方を模索するとともに、教科スクーリングやスタディサプリの効果的な利活用を推進する。 ----- 連絡会等を通じて、生徒の情報共有を図り、効果的で迅速な対応（進路指導、コミュニケーション能力育成等）を図る。	A		
	地域社会に向けた通信制の理解・認識を深めるため、広報活動を充実させる。	通信制の理解・認識を深めるため、地域社会に向けて積極的に情報発信を行う。具体的には、公式HPや学校紹介動画、メディアへの広報活動を展開する。 ----- 生徒の活躍の場を地域に求め、生徒の自己有用感を高めるとともに、通信制のイメージアップを図る。	B		

教 務	個々の生徒の学力や学習意欲に応じた指導や評価を工夫する。	日頃のスクーリングやレポートをとおして、生徒の学習状況を把握した上で、観点別評価を適切に行ない、指導に生かしていく。	B	B	B	観点別評価は定着しつつあるが、評価方法について一層の工夫が必要である。 放送視聴の利用生徒数は13%上昇した。 本年度は研修ができなかった。 観点別評価や 履修認定等について他校との情報交換ができた。 Teamsでのやりとりはかなり定着しており、HRや分掌等でチャンネルも開設している。
		放送視聴（高校講座）やスタディサプリを活用し、学力の向上を図る。	B			
	面接指導の進め方やレポートの作成、添削について研究・交流を進め共通理解と質の向上を図る。	面接指導やレポートに関する教員の研修を進める。	C	B		
		近通研や全通研等での研修をとおして、幅広く情報を得ることで、指導力向上のための研鑽を深める。	A			
	TeamsなどICTを活用し、円滑に学習活動を進めていく。	生徒がTeamsを活用するよう促すとともに、学校からの連絡や授業等においても有効に活用する。	B			
生徒指導	校内規律を維持する。	特に年度当初（4、5月）のスクーリングが落ち着いてスタートできるようにする。	A	A	B	年間を通して落ちついたスクーリング環境を継続できた。暴力、いじめ、喫煙などはなかった。 社会人、成人も多い中で全体として丁寧な対応を心がけた。 また、市町の福祉機関などとの連携を深めることができた。 生徒会は年間15回の役員会を行い、精力的に活動した。役員選挙にも積極的な立候補が見られた。 登下校時の交通事故はなかった。ただ自動車通学者を100%登録させることはできなかった。校門の見守りは継続して実施できた。
		各教室の使用が目的に沿ったものになるよう指導する。	A			
	生徒の人権を大切にした生徒指導を行う。	スクーリング日などの生徒の様子や本人、家族、関係者との話の中から、生徒理解を深める。	A	B		
		必要に応じて支援に係わる関係各機関との連携を深める。	B			
	自主活動や学校行事を活性化させる。	学校行事、特別活動への積極的な参加を促す。	B	B		
		生徒会役員が生き生きと活動に取り組み、リーダーとして力を発揮できるように指導していく。	A			
	交通災害を防止する。	自動車・バイク通学者を把握し、登録指導を徹底する。	B	B		
		スクーリング日の登校時に校門での見守りを行う。	A			
進路指導	自分の進路を考えることができるように指導し、希望する進路を実現できるように取り組めるように支援する。	進学希望の生徒に対しては、進学に関する情報を適切に提示し、支援する。	A	B	B	進学希望の生徒に対しては、教員間で情報を共有して連携して指導・援助を行うことができた。 就職希望の生徒は、早期から会社研究や見学等を行うことで、多くの生徒が希望を達成することができた。 生徒が希望進路をしっかりと持
		就職希望の生徒に対しては、働くことの意味をしっかりと考えることができるように指導する。	B			
	進路未確定や、早期離職とならないように、適切に指導・支援を行う。	担任と連携して、生徒・保護者の希望等を理解して、指導・支援を行う。また、生徒の持つ課題等も理解し、生徒自身にも理解させ、改善のための支援を行う。	B			

	進路に関する情報を教員間で共有する。	最新の進路情報を収集して、教員間で共有して生徒の指導に活用する。	A			ち、自分の課題を克服できるように指導することが大切であった。
保健・安全	通信制生徒ならではの健康課題や生活実態を把握し、指導や支援に務める。	健康診断や生活習慣アンケートを通し、生活実態を把握するとともに、課題を明らかにして適切に指導していく。	A	A	B	健康診断受検率は年々増加傾向にあり、teams等で事前・事後指導を行い、啓発に努めた。 健診結果を受けて病院への受診は推奨するが、強制はできない。
		配慮を要する生徒を把握して教職員全体で共有し、よりよい支援へつなげる。教職員間で具体的な事例をもとに対応のあり方を検討し、必要に応じて、関係機関等との連携を図る。	B			配慮を要する生徒の情報共有を教職員間で行い、必要な関係機関等と連携を図ることができた。 支援体制を上手く機能させるのは難しいところがあった。 多様な生徒が多い中で、どのようにアセスメントしてスクリーニングしていくかが課題である。
	生徒が自分自身の健康を見つめ直し、健康に生きるための知識や実践力を育む。	健康診断および事後指導等の充実を図り、健康的な生活習慣を意識して実践していく力をつけさせる。	B	B		薬物乱用防止教室は特定の日時しか設定できず、保健部の意図する内容と異なった。また、事前に内容を確認することができないのは課題である。
		薬物乱用防止教室や救命講習等の保健学習を実施し、健康で安全な生活習慣を意識して身につけさせる。	B			
	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを適切に活用し、心の問題の早期発見 ・早期対応に務める。	メンタルヘルスに関する学習を実施し、カウンセリングを周知・啓発するとともにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携・協働していく。	A	B		昨年度に引き続き、新・転入生に全員カウンセリングを実施した。41名中13名実施し、そのうち3名が継続面談につながった。
		コミュニケーション講座を開催し、苦手とする人との付き合い方を学ぶことで社会で生かせる力を身につけさせる。	B			スクールカウンセラーによる保健学習や社会生活スキルトレーニングを実施した。対人関係を構築することに困難を持っている生徒や漠然とした不安や生きづらさを感じている生徒への良いアプローチができた。
事務部	生徒及び教職員が安全・安心な学校生活が送れるように教育環境を確保する。	通信教育の特性に応じた教育活動を進められるよう、効果的な予算執行に努める。 校舎・施設等の適切な維持管理に努める。更に教職員とも情報を共有し、危険箇所の早期発見及び早期対応、修繕計画の作成を行う。	B		B	予算執行について、高額な物品等は、要望を満たすことができなかったため、次年度改善していきたい。 電話・窓口対応については、丁寧な対応を行うことができた。
	信頼される学校づくり	生徒、保護者等、来客者及び地域住民に対する窓口対応、電話対応等明るく丁寧な対応を行う。	A			生徒の修・就学支援については、個別にきめ細やかな対応を行っていたが、不十分な事象もあり、今後の課題とし、検討・協議が必
	生徒の修・就学支援の充実	保護者等・生徒に対する十分な制度の案内周知と丁寧な				

		対応を行い、就学支援金・教科書補助事業・その他各種奨学金を円滑に実施する。	B	要である。 会計事務処理について適正に処理を進めることができた。職員の相互チェックを一層高め、事務処理遅延や軽易なミスを生じないように引き続き努めていく必要がある。
	適切な会計事務の執行	会計事務研修に参加し、会計事務に関する知識を深め、給与、旅費及び会計事務等の適切な処理に努める。 職員相互のチェック体制を強化する。	A	

学校運営協議会による評価	通信制における学習形態の特性や多様な生徒が在籍している状況を踏まえた上で、引き続ききめ細やかな学校運営をお願いしたい。 また、次年度の経営計画策定については、今年度の課題を十分精査した上で、担当者の引き継ぎを丁寧に行い目標設定することが望ましい。			
--------------	--	--	--	--

次年度に向けた改善の方向性	通信制教育の特性を教職員間で再確認をしながら、外部関係機関との連携も踏まえ、様々なニーズに対応したきめ細やかな学校運営を図る。 ＩＣＴ機器の利活用を推進するとともに、今年度の課題改善を図るため、分掌間の情報共有や連携を深めながら学校運営にあたる。			
---------------	--	--	--	--